

# 図書館だより



## 夏季休業中の図書館利用について

図書館の夏季休業中の利用の仕方については、いつもと同じですが、貸出冊数や貸出期限が下記のようになっていますので、よく確認して利用してください。また、夏季休業中であっても、図書館内での飲食はできません（ペットボトルと水筒の飲み物に限り可）。きまりを守って利用しましょう。



☆一回の貸出冊数は、一人5冊までとします。

※延滞している本がある場合は、返却後に貸出可能です。



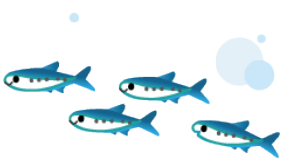
☆夏季休業に貸出する本の返却期限は、8月21日（月）までとします。

※ただし、その本に予約が入っている場合は、休み中でも返却してもらうことがあります。

☆図書館が閉館のときは、返却ポストを利用してください。



→夏季休業後は通常どおりの貸出期限（2週間）、貸出冊数（3冊）に戻ります



## 夏季休業中の図書館予定

夏季休業中の開館時間 9:00～16:00



開館予定が変更になる場合もあります。図書館前の掲示板でお知らせしますので、確認して利用するようにしてください。

また、角田高校のHPにも予定を掲載していますので、そちらも確認してください。

月	火	水	木	金
		7/26 開館 【全校集会】	27 開館	28 開館
31 開館	8/1 開館	2 休館	3 開館	4 休館
7 開館	8 開館	9 開館	10 休館	11 祝日(山の日) 休館
14 休館	15 休館	16 休館	17 開館	18 開館

# 🐞 🐟 🌟 読書感想文、どんな本を選ぶ？ 🐞 🐟 🌟

読書感想文を書くための本選びに迷っていませんか？自分の好きな本では感想文が書きにくいと悩んでいる人もいます。そこで図書館では、高校生のみなさんに読んでほしい本や、これなら感動するのではないかなと思うような本を選んでコーナーを設置しました。

オススメは、夏目漱石や芥川龍之介、川端康成など、今なお名作といわれる文学です。堅い、難しいなどのイメージがあるかもしれませんが、文章は短編ながら喜怒哀楽といった内容がぎゅっと詰まっています。感想文を書くには、感動、つまり心が動くことが大切です。名作は多くの人々の心を動かし続けてきました。きっと、みなさんも心が動く体験をすることができますと思います。



## 🐞 🐟 3年生のみなさんへ ~小論文を書くために~ 🌟 🐟

小論文に強くなるには、興味ある分野に関する時事問題や知識を得ることが大切です。それらを基にして、自分の考えを論理的に組み立てていかなければなりません。自分の考えをうまくまとめるためには、土台となる知識と、文章にしていく練習が欠かせないのです。

そこで、図書館からおすすめするのは“新書”です。一見、難しそうな本のように見えますが、問題点が整理されていますし、データ等を使って詳しく説明しながら、結論がすっきりまとめられているからです。そのため、様々な分野の課題に具体的な問題意識を持つことができます。

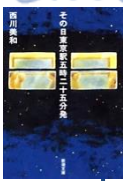
時間に余裕がある今のうちに、読んでおくことをおすすめします。よくあるのが、受験直前に図書館に来て、「小論文のために一日で読める本を貸してください！」ということ。そんな都合の良い本はありません。小論文は日頃の情報の積み重ねです。意識しながら情報を仕入れていきましょう。

**本探しに迷っているみなさんは、カウンターまで！**



みんなから聞いたヒントで、一緒に本探しをします。遠慮なく声をかけてください！

## 🐟 🐟 🐟 🐟 🐟 🐟 おすすめの本です！ 🐟 🐟 🐟 🐟 🐟



『その日東京駅五時二十五分発』  
(西川美和：著 新潮社)

終戦の日の朝、19歳のぼくは東京から故郷・広島へ向かいます。通信兵として頑張っても戦争を目の前に何もできなかったという思い。戦争の話が苦手な人にも読んでほしい、“生きる”が詰まった一冊。

『いのちの車窓から』  
(星野源：著 KADOKAWA)

「人気歌手」だから、「人気俳優」だからではない。感じたことを、こんなにも素直な文章で書いて、共感が得られるなんてスゴイ！そして、何と言っても“おもしろい”が止まらない！



『道をひらく』(松下幸之助：著 PHP 研究所)

伝説の経営者、松下幸之助のエッセイ。長年読み継がれているだけあって、座右の書として心に留めておきたい言葉が溢れています。「自信を失ったとき」「困難にぶつかったとき」など、解決の道を示してくれるに違いありません。

『プシュケの涙』  
(柴村仁：著 KADOKAWA)

夏休み、一人の少女が残した謎。二人の男子高生が真実を探るために立ち上がります。巧妙な仕掛けに、「そうくるか！」と思わず唸ってしまいます。ミステリーと淡い恋の青春物語。

